



# 日和山

新潟市立日和山小学校  
学校便り 第109号  
令和7年1月24日



## 巳年の初夢「みんなの学校」

校長 諸橋 智

新年を迎え、1月も下旬となりました。巳年の今年は、運氣の上がる年となりそうです。蛇は怖い、苦手と思われがちですが、豊穰や金運を司る神様としてまつられたり、その生命力から医療や再生の象徴とされたりすることも古くから見られます。縁起物でもあるので、は虫類好きな私としては、蛇は結構好きです。また、干支の60の組み合わせのうち、今年は42番目の「乙巳」(きのとみ)です。「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」や「これまでの努力や準備が実を結び始める時期」と記されているものを見かけます。大化の改新が起きた645年も乙巳の年だったそうです。このような歴史的な変革が他にも起きていることから、「劇的な変革を迎える年」と言う人もいます。昨年の創立10周年では、保護者・地域の皆様のお力添えで充実した活動を行うことができました。今年は、「劇的」とまではいかずとも、将来を見通すような「小さな変革」が起こせるよう努めたいと思っています。



さて、学校は各校が定める「教育課程」により運営されています。教育課程は、枠組みは基本的に共通ですが、地域の実態や子どもの実態に合わせてそれぞれの学校ごとに工夫して構成しています。必ず指導しなければならないものの中心は、ご存じの文部科学省の学習指導要領です。そこには教科・領域の学習内容が示されており、確実に身に付けさせることが求められます。そして、学習を理解し身に付ける過程で、「関わる力」とか「話し合う力」とか「考える力」とか「判断力」「思いやり」「良心」「創造力」「自己決定力」などなど・・・子どもたちに「生きる力」を育むことが大きな目的になります。そのために学習の仕方や行事の在り方などを工夫するわけです。どこに力点を置くかによって、学校独自の教育課程を形作ることになります。教職員は、歴史的・経験的な見地から知恵を絞り、流行であったり不易であったりする活動を考え教育課程を編成しています。

学校では、これまでも保護者や地域の皆様との「連携・協力」の下で組織や活動の整備がなされてきました。11年目の今年は、それをさらに進め、「連携・協力」から「融合・一体化」を目指したいと考えています。PTA会長様も新たな保護者の活動を打ち立てようと日々努力を重ねておられます。子どもや保護者、地域の思いを加え、未来を託す子どもたちにどのような力を育てるのか、共に考えて教育課程をつくるのが重要です。子どもたちは地域の宝です。うちの子もよその子も、これから生まれてくる子も大切に育てたいと思うゆえに、日和山小学校の教育の在り方を皆さんで考えていくことが大切だと思うのです。保護者・地域の皆様からも一層参画いただき、学校教育目標や教育活動重点の策定、保護者の活動、ふれあいスクールなど、CS(コミュニティスクール)を舞台として、学校、保護者・地域が共につくる「みんなの学校」となることが、私の巳年の初夢です。



「家に巳が3匹いるとお金持ちになる。」と子どもの頃、聞かされました。当校には4人の“巳”がいます。きっと日和山小学校もお金持ち??それ以上に「幸せ」になることでしょう…。

## 日ピア・サポートで「がんばる」「協力」「あったか言葉」の大切さを

推進プロジェクトA 斎藤 隆

しも町アドベンチャーでは、子どもたちは班ごとに目標を定め、それに向かって頑張る姿が見られました。歩いている時は、「一生懸命歩いていいね！」と励まし合う姿が印象的でした。お互いにサポートし合いながら、楽しい時間を過ごしました。遊んでいる時も、「一緒に遊ぼう！」という声が聞かれて、みんなが楽しむことができました。友達が困っている時には、「だいじょうぶ？」と声を掛ける姿もあり、あたたかい雰囲気広がりました。「ありがとう、〇〇さんのおかげでうまくいったよ！」という言葉で、助け合いの大切さを実感していました。みりよくあふれる！未来のしも町プロジェクトでは、10年後にあるといい建物やお店などをクローバー班で作りました。「みんなの意見を聞いて一緒に決めよう」という姿勢が活かされて、力を合わせて熱心に作る姿が見られました。

今後も、子どもたちが「がんばる」「協力」「あったか言葉」を大切に、より良い学校生活を送れるよう、サポートしていきたいと思えます。



## 自ら問いをもち、解決に向かう子どもの育成をめざして

推進プロジェクトB 近藤 真弓

日和山小学校では、「分かる・できる授業」を目指した授業改革に取り組んでいます。

今年度も昨年度に引き続き、「自ら問いをもち、解決に向かう子どもの育成」をテーマに授業改革に取り組みました。子どもが何らかの事象に出会ったとき、今までの経験や自分の知識から抱く疑問を、自分の課題や問題と捉え、自らの方法で解決しようと動き出す主体的な学びに取り組む子どもを目指してきました。さらに、友達とのかかわり合いによる協働的な学びの中で自分の考えを広げたり、深めたりすることができるよう、授業研修に取り組んできました。どの授業においても質の高い学習課題の工夫と自力解決を促す手立てを工夫した授業改革を目指し、各学級1回の授業公開を行い、授業改革研修を行いました。

家庭学習の充実にも取り組みました。新潟市では、小学生に毎日「学年×10分間」以上の家庭学習を推奨しています。自主学習（自学）の取組では、適切な内容を選び計画を立てて学ぶ力や授業と関連させながら工夫して学ぶ力の育成にも力を入れています。

今年度も新潟柳都中学校と連携し、2回の「家庭学習強調週間」を行いました。家庭学習の習慣が身に付くことは、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着につながり、「分かる・できる」をより確かなものにできます。今後も、集中して家庭学習に取り組める環境づくりへのご協力をよろしくお願いいたします。

